

震災豫防調査會報告 總目録

● 第一號 (明治二十六年十一月二十日發行)

- (一) 貴族院議員理學博士菊池大麓ノ同院ニ提出シタル建議案并ニ同人ノ同院ニ於ケル演說……………第二〇頁
 - (二) 本會官制……………第三二頁
 - (三) 濃尾震災ノ鐵道ニ及ボシタル震害調査報告(原口委)……………第三三頁
 - (四) 地震計調査ニ關スル報告(田中箱、中村、長岡)……………第四〇頁
 - (五) 耐震家屋ニ關スル報告(辰野委)……………第四二頁
 - (六) 吾妻山噴火ニ關スル報告(大森委)……………第六〇頁
- 第二號 (同二十七年八月二十五日發行)
- (一) 愛知縣震災報告(江森臨時委員提出)……………第八頁
 - (二) 福井縣震災景况(福井縣報告)……………第六九頁
 - (三) 餘震ニ關スル報告(大森委員提出)……………第一〇三頁
 - (四) 名古屋及仙臺兩市ニ於ケル磁力計室ニ關スル報告(田中箱、中村兩委員提出)……………第一四〇頁
 - (五) 地震ト地球磁力ノ變動トノ關係ニ付會長ノ開陳……………第一四二頁

總目録

● 第三號 (同二十八年六月八日發行)

- (六) 深井穿掘ニ關スル報告(吉田委員提出)……………第一四四頁
 - (七) 深井地質第一回報告(理科大學々生山崎直方調査小藤委員提出)……………第一四七頁
 - (八) 材料強弱試驗ニ關スル報告(田邊、眞野、井口各委員提出)……………第一五五頁
 - (九) 人為地震ヲ生スル方法ニ付報告(關谷、田邊、眞野、田中箱、井口、大森各委員提出)……………第一六三頁
 - (十) 構造物雛形調製ニ關スル報告(辰野、片山、中村、曾禰各委員提出)……………第一六四頁
 - 地震其他地異彙報(自明治二十五年九月至明治二十七年三月)……………第一六七頁
- 第三號 (同二十八年六月八日發行)
- (一) 岐阜三重兩縣土木工事震害復舊工事ニ關スル報告(佐伯臨時委員提出)……………第九頁
 - (二) 材料強弱試驗第二回成績ニ關スル報告(田邊、眞野、井口委員提出)……………第一五頁
 - (三) 北海道地震ニ關スル報告(大森委員提出)……………第二七頁
 - (四) 同上記録調査ニ關スル報告(大森委員提出)……………第三七頁
 - (五) 同上構造物震災調査ニ關スル報告(囑託學士石井敬吉提出)……………第四七頁
 - (六) 烟突修繕方ニ付注意(本會ヨリ文部大臣ヘノ報告)……………第六九頁
 - (七) 煉瓦烟突危害豫防等諮問ニ對スル答申(内務省照會ニ關シ文部大臣ノ諮問ニ對スル本會ノ答申)……………第六九頁

一

(八)千葉神奈川兩縣下地裂線調査ニ關スル

報告(囑託員理學士).....第七二頁

(九)山形縣下地震調査ニ關スル報告(大森委).....第七九頁

(十)同上震災地巡回取調ニ關スル報告(中村委).....第一〇七頁

(十一)同上震害家屋取調ニ關スル報告(曾禰委).....第一一七頁

(十二)古來出羽ニ於ケル大地震記事(囑託員田).....第一三一頁

(十三)地震動傳達ノ速度及「波丈ケ」ニ關スル報告(大森委).....第一五三頁

○地震其他地異彙報(自明治二十七年四月至同年十二月).....第一四二頁

●第四號 (同二十八年七月三十日發行)

(一)構造物雛形調製ニ關スル報告(辰野、片山、中村、曾禰、各委員提出).....第五頁

(二)東京附近地震被害建物等調査ニ關スル報告(同上各委員提出).....第一三頁

(三)同上被害橋梁調査ニ關スル報告(囑託員吉見鎮之助、調查石黒、田邊兩委員提出).....第九一頁

(四)水平振子觀測ノ報告(工科大學教師シヨシミルン提出).....第九三頁

○地震其他地異彙報(自明治二十八年一月至同年三月).....第九五頁

●第五號 (同二十八年八月十五日發行)

○東京附近地震被害工場烟突調査ニ關スル報告(眞野委).....第七二頁

報告(眞野委).....第七九頁

●第六號 (同二十八年九月二十九日發行)

○木造耐震家屋調査ニ關スル報告(辰野、片山、中村、曾禰、各委員提出).....第一〇七頁

●第七號 (同二十八年十二月三十日發行)

(一)山形縣下震災被害建物調査報告(大學院學生及工科大學學生等調査辰野、中村兩委員提出).....第一一七頁

●第八號 (同二十九年三月九日發行)

(一)庄内地震ニ關スル地質學上調査報告(小藤委).....第一五三頁

(二)妙高火山彙報地質調査報告(囑託員理學士山崎直).....第一四二頁

(三)米山火山地質調査報告(囑託員理科大學々生岩崎重三、調查小藤委員提出).....第一三一頁

(四)毛無火山近傍地質調査報告(囑託員理學士清水實隆、調查小藤委員提出).....第一三七頁

●第九號 (同二十九年七月二十四日發行)

(一)山形縣下震災後建築視察報告(囑託員工學士野口).....第一三三頁

(二)同上(囑託員辰野、中村兩委員提出).....第一三五頁

(三)東京地震被害建物實況調査報告(大學院學生工學士塚本靖、野口孫市、囑託員山崎定信、調查辰野、片山、中村、曾禰、各委員提出).....第一三一頁

(四)同上(大學院學生工學士野口孫市、調查辰野、中村兩委員提出).....第一三五頁

(五)東京地震被害建物實況調査報告(大學院學生工學士塚本靖、野口孫市、囑託員山崎定信、調查辰野、片山、中村、曾禰、各委員提出).....第一三一頁

(六)同上(大學院學生工學士野口孫市、調查辰野、中村兩委員提出).....第一三五頁

●第九號 (同二十九年七月二十四日發行)

(一)山形縣下震災後建築視察報告(囑託員工學士野口).....第一三三頁

孫市調査長野、片山、
中村會禰各委員提出)……………第五頁

(二)大島火山調査報文(理學士山崎直方調
査小藤委員提出)……………第三三頁

●第十號 (同 二十九年十一月十九日發行)

○煉瓦接合試驗成績第一回及第二回報告

(囑託員吉見鎮之助
調查田邊委員提出)

●第十一號 (同 三十年一月二十二日發行)

(一)三陸地方津浪實況取調報告(囑託員理科大
學々生伊木常

誠調查小藤
委員提出)

(二)三陸地方津浪前後地球磁力變動報告

(中村委
員提出)

(三)布哇島ノ津浪詳報抄譯

(四)三陸津浪彙報

(五)陸羽地震調査概報(囑託員理學士山崎直
方調査小藤委員提出)

(六)秋田縣震災調査報告(巨智部委
員提出)

(七)陸羽震災地巡回報告(中村委
員提出)

(八)岩手秋田兩縣下震害家屋調査報告(會禰委
員提出)

(九)震害家屋ノ修繕ニ就テノ注意(本會ヨリ秋
田岩手兩縣

(送付セ
ルモノ)

(十)陸羽震災前ニ於ケル地球磁力ノ變動報

告(和田委
員提出)……………第一〇六頁

(十一)陸羽地震彙報……………第一〇九頁

(十二)榛名火山及角落火山地質調査報文(囑託
員理

學士岩崎重三調
査小藤委員提出)

●第十二號 (同 三十年六月二十七日發行)

(一)煉瓦接合強弱試驗成績第三回報告(囑託
員吉

見鎮之助前澤初治
調査田邊委員提出)

(二)高架鐵道布設計畫ニ關スル遞信省鐵道

局照會及本會回答……………第二二八頁

●第十三號 (同 三十年九月十三日發行)

(一)北海道根室ニ建設セル改良日本風木造

家屋建築仕様及圖面……………第五頁

(二)東京市深川ニ建設セル改良日本風木造

家屋建築仕様及圖面……………第九頁

(三)木造日本風改良構造仕様及圖面……………第一三頁

(四)木造耐震家屋雛形解說概要及寫真……………第一九頁

(五)公共用木造二階建改良構造仕様及圖面……………第二九頁

(六)大不列顛理學獎勵會ノ提議ニ關スル本

會委員會ノ決議……………第三一頁

●第十四號 (同 三十年十二月十日發行)

○工場烟突調査ニ關スル報告(眞野委
員提出)

●第十五號 (同 三十一年一月六日發行)

○木材接合試験成績第一回報告(囑託員吉見鎮
調查田邊
委員提出)

●第十六號 (同 三十一年一月三十一日發行)

○箱根熱海兩火山地質調査報文(囑託員理科大
學々生平林武
調查小藤
委員提出)

●第十七號 (同 三十一年二月二十六日發行)

○伊豆半島火山地質調査報文(囑託員理學士石
原初太郎調查小
藤委員
提出)

●第十八號 (同 三十一年四月二十九日發行)

○赤城火山地質調査報文(囑託員理科大學々生齋
藤讓調查小藤委員提出)

●第十九號 (同 三十一年五月二十九日發行)

○荒船火山地質調査報文(囑託員理科大學々生佐川
榮次郎調查小藤委員提出)

●第二十號 (同 三十一年六月二十七日發行)

○(一)深井地質第二回報告(囑託員理學士山崎直
方調查小藤委員提出)

○(二)八ヶ嶽火山彙地質調査報文(上)

●第二十一號 (同 三十一年七月二十八日發行)

(一)人爲地震臺改修報告(眞野委
員提出)……………第五頁

(二)煙突振動實驗報告(田中縮、眞野
兩委員提出)……………第七頁

(三)人爲地震波速度測定報告(大森委
員提出)……………第一七頁

(四)地震波傳達速度測定第一回報告(大森委
員提出)……………第二一頁

(五)同第二回報告(囑託員理學士今村明
恒調查大森委員提出)……………第三一頁

(六)地震動ノ強度ト被害トノ關係調査報告
(大森委
員提出)……………第四五頁

(七)仙臺市及附近震災被害調査報告(囑託員
理學士
木村駿吉六波
羅李次郎提出)……………第五一頁

(八)福井縣大飯郡内變動地調査報告(囑託員
理學士
伊木常誠調查
小藤委員提出)……………第五七頁

(九)東印度震災畧誌ニ關スル報告(近藤委
員提出)……………第六七頁

○地震彙報(自明治三十年一月
至同 年 十二月)……………第七一頁

●第二十二號 (同 三十一年九月九日發行)

○印度震災地巡回報告(中村委
員提出)……………

●第二十三號 (同 三十一年十月十七日發行)

○煉瓦接合強弱試驗成績第四回報告(囑託員
吉見鎮
之助、前澤初治調
査田邊委員提出)

●第二十四號 (同 三十二年二月十五日發行)

○富士及愛鷹火山地質調査報文(囑託員理學士
平林武調查小
藤委員提出)

藤委員
提出)

●第二十五號 (同 三十一年十二月二十日發行)

○印度アツサム地方震災實況調査報告(小山
臨時
委員
提出)

提出)

●第二十六號 (同 三十二年二月八日發行)

○日本地震史料目錄(囑託員田山實寬
集大森委員提出)……………第三頁

○日本地震史料目錄ノ調査(大森委
員提出)……………第一一三頁

●第二十七號 (同 三十二年三月十五日發行)

○日光火山彙地質調査報文(囑託員理學士齋藤謙
調查小藤委員提出)

●第二十七號附錄 (同 三十二年九月十日發行)

○六甲山鳴動ニ關スル意見(大森委
員提出)

●第二十八號 (同 三十二年九月十日發行)

○煉瓦柱破壊及柱狀物體轉倒ニ關スル調査

(大森委
員提出)……………第四頁

○明治二十七年六月二十日東京激震ノ調査

(上同)……………第七一頁

○明治二十四年十月二十八日濃尾大地震ニ

關スル調査(上同)……………第七九頁

○明治二十七年六月二十日東京激震ノ地震

計記録圖(上同)……………第九七頁

●第二十九號 (同 三十二年九月二十九日發行)

○福岡地震調査(囑託員理學士伊木常
誠調查小藤委員提出)……………第五頁

○東京ニ於ケル福岡地震餘波ノ觀測調査

(大森委
員提出)……………第一一頁

○三陸津浪取調(囑託員理學士今村明
恒調查大森委員提出)……………第一七頁

○工科大学二階地震驗測ノ結果(大森委
員提出)……………第三三頁

○地震ノ初期微動ニ關スル調査(上同)……………第三七頁

○遠地地震ニ關スル調査(上同)……………第四七頁

○宮古地震觀測ノ調査(上同)……………第五七頁

○震災ト水位ノ關係第一回報告(囑託員前澤
初治調查近
藤委員
提出)

……………第八一頁

○支那地震表(大森委
員提出)……………第八五頁

○地震其他地異彙報(自明治三十一年一月
至同 年 十二月)……………第一〇七頁

●第三十號 (同 三十三年六月四日發行)

○餘震ニ關スル調査第二回報告(大森委
員提出)……………第五頁

○日本ニ於ケル地震ノ一年中及一日中ノ分

布(上同)……………第三〇頁

●第三十一號 (同 三十三年七月十日發行)

○高原火山地質調査報文(囑託員東京帝國
大學理科大學々

生金原信恭調査
小藤委員提出

第三十二號 (同 三十三年九月十三日發行)

○地震觀測方ニ關スル意見(大森委員提出)……………第七頁

○地震動ノ性質ニ關スル調査第一回報告(上)……………第九頁

○物體ノ轉倒及移動ニ就キテ(上)……………第一九頁

○月(太陰)ト地震トノ關係ニ就キテ第一回報告(上)……………第三五頁

○明治三十一年八月福岡激震ニ關スル調査第二回報告(上)……………第四七頁

○日本ノ大地震ニ就キテ(上)……………第五五頁

○青森ニ於ケル地震回數(上)……………第六三頁

○明治二十四年十月廿八日濃尾大地震調査第二回報告(上)……………第六七頁

○京都地震觀測ノ調査第一回報告(上)……………第八九頁

○大阪地方震害調査報告(會聯委員提出)……………第一〇五頁

○地震波傳播ノ速度測定第三回報告(今村臨時委員提出)……………第一二二頁

○明治三十三年五月十二日陸前地方ニ發

セシ強震前ニ於ケル磁力變動調査報告(囑託員理學士大石和三郎調査和田委員提出)……………第一二七頁

○地震ト地磁氣トノ關係調査報告(囑託員理學士本間義次郎調査和田委員提出)……………第一三一頁

○地震其他地異彙報(自明治三十二年一月至同十二月)……………第一四五頁

○阿蘇火山調査報文(囑託員理學士伊木常誠調査小藤委員提出)……………

○日本ニ於ケル津浪ニ就キテ(大森委員提出)……………第五頁

○三陸大洋津浪被害圖面(近藤委員提出)……………第八一頁

○「ミルン」式水平振子記象ニ關スル調査(今村臨時委員提出)……………第五頁

○餘震ニ就テ(囑託員理學士鹽治應太郎調査大森委員提出)……………第二五頁

○地震ノ大小ト震域トノ關係ニ就テ(上)……………第五七頁

○材料強弱試驗成績第三回報告(眞野委員提出)……………第六五頁

○羅臼火山鳴動調査事項報告(囑託員理學士金原信泰調査大森委員提出)……………第七三頁

○地震其他地異彙報(明治三十三年中)……………第八五頁

○那須火山地質調査報文(囑託員理學士松田繁調査小藤委員提出)……………

○鐵道橋梁ノ「曲リ」及振動ノ驗測(大森委員提出)……………

……………

……………

……………

……………

……………

……………

……………

……………

第三十八號 (明治三十五年九月二十八日發行)

○兵庫縣美方郡滑落地調査報告 (囑託員理學士岡田英夫調査員提出)

第五頁

○山梨石川靜岡三縣下ノ地割レ、山崩レ等

調査報告 (囑託員理學博士神保小虎提出) 第一三頁

○有馬町地鳴地地質調査報告 (囑託員理學士比企忠提出) 第三三頁

○明治卅三年十一月五日豆南諸島ノ地震ニ關スル報文 (囑託員理學士福地信世調査大森委員提出)

第三九頁

○岩代半田山崩之圖 (囑託員農商務技手田村英太郎實測神保囑託員提出) 第五五頁

○兵庫縣美方郡滑落地ニ關スル報告 第五七頁

第三十九號 (同 三十五年十二月二十三日發行)

○新島地質調査報文 (囑託員理學士福地信世調査小藤委員提出)

第四十號 (同 三十六年二月八日發行)

○汽車振動ノ驗測第一回報告 (大森委員提出) 第五頁

○木材強弱試驗報告 (田邊委員日比臨時委員提出) 第一九頁

第四十一號 (同 三十六年五月八日發行)

○地震動ニ關スル調査 (大森委員提出) 第九頁

○博覽會出品及解説 第六三頁

第四十二號 (同 三十六年五月十日發行)

○汽車振動驗測第二回報告 (大森委員提出)

第四十三號 (同 三十六年六月二十一日發行)

○烏島破裂概報 (大森委員提出) 第四頁

○八丈島及青ヶ島地災記錄 (同上) 第二五頁

○烏島破裂調査概報 (囑託員理科大學々生西村萬壽、猪間收三郎提出) 第三五頁

○烏島火山噴出後ノ地勢調査報文 (神保囑託員提出) 第四三頁

○震原ノ深サニ關スル調査報告 (今村臨時委員提出) 第四九頁

○地震ノ大小ト震域トノ關係第二回報告

(元囑託員理學士鹽治應太郎提出) 第六一頁

○大阪砲兵工廠火藥庫爆裂ニ就キ (長岡委員提出) 第六九頁

○マルチニツク島ブレ一山噴火ノ際ニ於ケル地磁氣ノ變動記事譯文 (大森委員提出) 第七七頁

第四十四號 (同 三十六年八月二十九日發行)

○岩手火山彙地質調査報文 (囑託員理學士櫻井廣三郎調査小藤委員提出)

第四十五號 (同 三十六年六月二十一日發行)

○鐵道橋梁ノ曲リ及振動ニ關スル調査第二回報告 (大森委員提出) 第一頁

○地下温度調査第一回報告 (田中箱委員提出) 第一七頁

第四十六號 (同 三十六年六月二十一日發行)

○鐵道橋梁ノ曲リ及振動ニ關スル調査第一回報告 (大森委員提出) 第一頁

○地下温度調査第一回報告 (田中箱委員提出) 第一七頁

第四十七號 (同 三十六年六月二十一日發行)

○鐵道橋梁ノ曲リ及振動ニ關スル調査第二回報告 (大森委員提出) 第一頁

●第四十六號(甲) (明治三十七年三月八日發行)

○大日本地震史料自允恭天皇五年至天保十四年三月

●第四十六號(乙) (同 三十七年三月三十一日發行)

○大日本地震史料自弘化四年三月至慶應元年二月

●第四十七號 (同 三十六年十二月十五日發行)

○沖繩縣島嶼噴火報告(山崎臨時委員提出)

○兵庫縣但馬國城崎都奧佐津村變動地調査

報告(囑託員理學士大日方順三提出)

●第四十八號 (同 三十八年三月十日發行)

○岩木火山地質調査報文(囑託員理學士八谷彪一調査小藤委員提出)

●第四十九號 (同 三十八年二月二十八日發行)

○日本ノ地震分布地理ノ震原(大森委員提出)

○地震ト緯度變化ノ關係ニ就キテ(同上)

○鮎川及三崎ニ於ケル海水面一年中ノ

高低(同上)

○地ノ脈動一年中ノ分布大阪及水澤ニ於ケル觀測(同上)

○近年日本ニ於ケル火山噴出表(同上)

○岩代國半田銀山變動ノ沿革及山崩

總說(元囑託理學博士神保小虎提出)

○明治卅七年臺灣南部沿岸ノ強震報告(臺北測候所報告)

○秋田縣南秋田郡富津內村ノ小山崩報告(秋田縣知事報告)

●第五十號 (同 三十八年三月三十日發行)

○地震驗測法一斑(大森委員提出)

●第五十一號 (同 三十八年七月五日發行)

○明治三十七年十一月六日臺灣震災調査

報告(囑託員工學士佐野利器提出)

●第五十二號 (同 三十九年二月十日發行)

○鳥海火山地質調査報文(囑託理學士中島欽三調査小藤委員提出)

●第五十三號 (同 三十九年一月二十六日發行)

○明治三十八年六月二日藝豫地震調査

報告(今村臨時委員提出)

○明治三十八年六月二日午後二時四十分

頃ノ強震ニ關スル調査(元囑託理學士鹽治應太郎提出)

○廣島地震ニ就テ(囑託理學士八谷彪一提出)

○藝豫地震ノ震源地(小藤委員提出)

○廣島愛媛二縣下震災地建築物調査

總說(元囑託理學博士神保小虎提出)

報告(曾禰委) 第三九頁

○廣島縣下ニ於ケル震災調査報告(田邊委) 第七五頁

○藝豫地震彙報 第八〇頁

○伊豆大島ノ地震ニ關スル地質學上ノ

觀察(囑託理學士福) 第八七頁

○伊豆大島地震彙報 第九六頁

第五十四號 (同 三十九年九月九日發行)

○臺灣地震調査一斑(大森委) 員提出

第五十五號 (同 三十九年三月三十日發行)

○鐵道軌條振動驗測報告(田邊委員日比) 臨時委員提出 第一頁

○木材剪斷試驗報告(井口委員田中) 囑託員提出 第三五頁

第五十六號 (同 四十年一月十八日發行)

○新島調査報告(囑託理學士脇) 水鐵五郎提出 第一頁

○阿蘇新噴火實況調査報告(囑託理學士平) 塚忠之助提出 第二五頁

○千八百八十三年「クラカトア」大破裂ニ

伴ヘル津浪ニ就キテ(大森委) 員提出 第二九頁

○火山破裂一年中ノ分布ニ就キテ(大森委) 員提出 第三五頁

第五十七號 (同 四十年二月十五日發行)

○東京ニ起ルベキ將來ノ地震ニ就キテ 第一頁

○桑港ト江戸ノ火災並ニ火災保險ニ就キテ 第一八頁

○世界各地近年ノ大地震ニ就キテ 第二三頁

○大地震ノ平均年數ニ就キテ 第二七頁

○地震續發ノ有無ニ就キテ 第三三頁

○本邦近年強震ノ震原地 第三五頁

○地震ノ時分布(小引) 第三八頁

○京都及ヒ附近ノ大地震 第四四頁

○一觀測地ノ地動計記象ヨリ遠地地震ノ震原

地ニ於ケル發震時ヲ推測スル方法 第五二頁

○石卷及筑波山上ノ脈動(小引) 第五三頁

○緩慢ナル震動ノ振幅(小引) 第五四頁

○地震ノ鳴響ニ關スル調査(第一回報告) 第五五頁

○長キ週期ヲ有スル氣壓ノ變化ニ就キテ 第六五頁

○海水面ノ高サ一年中ノ變化(第二回報告) 第六九頁

○人爲的爆發ノ爲ニ生ゼル地ノ震動(小引) 第七五頁

○露國軍艦「ダイアナ」號遭難記事(以上大森) 委員提出 第八二頁

○餘震ニ就テ第二回報告(元囑託理學士鹽) 治應太郎提出 第八五頁